

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		鶴ヶ峰もえぎ本部 (単位1:本部)		公表日		2024年12月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	学年の大きい利用者が多い日はスペースが狭いと感じる時もある。	共有スペースが空いている際は分散して活動を行う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・職員が十分に足りている日もあれば、特性上重い利用者の日に職員が少ないと感じる日もある。 ・その日によってスタッフ不足がある。	職員の希望休等もあるが、可能な限り分散して勤務していただけるよう声掛けや移動をお願いする。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	階段があるのと、エレベーターは業務用なので、利用者は乗れない。	エレベーターの工事が現実的では無いため、改善が難しい。 配慮が必要な方に関して、別フロアのご案内を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	物が多いと感じる。	1年使用していないものに関しては適宜廃棄し、各フロアの持ち物については各フロアに返却する。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・毎日ミーティングで利用者の情報共有はしているが、PDCAサイクルを回すまではいっていない。 ・わからない	情報共有ツールを使用して全員が参加出来るように取り組む。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・先日始めて評価表を送信したので、結果を元に改善するところまではいっていない。 ・わからない	毎年HPIにて公開をしており、内容についても共有ノートに添付していたが、確認する職員としない職員がいることも事実。 チームスにて公開を行う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	業務過多(他の職員よりも業務量が多いと感じている)	業務の振り分けを行うとともに、得意/不得意でも業務が行えるよう職員間で会議を行う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・外部評価を行っているかわからない	・視覚的にわかるよう公開を行う。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・前はあったが今は研修がない。	・法人内研修については今年度より変更。 発表があり次第開示する。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	面談をもう少し時間をかけ、本人のニーズ、保護者のニーズを聞いた上で計画書を作成してもいいのかなと思います。	・面談の希望者、書面での希望者等様々なニーズがあるが、面談の形態を再度確認し、希望に沿った面談を行い計画書を作成できるようにする。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	全職員が個別支援計画書の内容が周知されているとは言いがたい。	・個別ファイルを確認する機会が少ない。こまめに確認出来るよう時間を取っていただく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	全職員に個別支援計画の周知が完璧には行われていないので、計画に沿って支援が行われているが不明なところもある。	・個別ファイルを確認する機会が少ない。また、自身が作成したものではないという意識付けではなく、自身も一緒に携わっていく。という意識付けが出来よう職員支援を行う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・専門職員が入ったことにより適性に応じた支援が行われるようになってきた(子供の行動観察もよく行われるようになった) ・わからない。	今後も継続して支援が出来るようになっていきたい。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	・チームではなく、個々で提案。	・全員で揃う機会が少ないため、個別に意見を伝え、集約を行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	4	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	5		・ミーティングで行っている。	・継続して行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	・チームスで共有	・継続して行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	4	1	・記録はしているが、改善案を出すまでにはいって いない。	・自身の中で考えた改善点を伝えられるよう職員支 援を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	3	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	4	1	下校時間を時々間違ふことがある。	・下校時間の転記が正しいかダブルチェックを行 う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	3	1	不明	・高校生の利用者が不在だったため、現状提供を 行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	・不明 ・わからない。	・研修の機会がない。今後機会が作れるよう地域資 源の確認を行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	2	2	不明	・公園遊びで一緒に遊ぶことがある。 ・児童クラブについては今後交流の機会を作ってい く。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	不明	・積極的に参加しているが、非常勤の参加の機会が ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2	子供の意見ももっと取り入れても良いのかも。	・活動については実現可能なものについては提案を 受けている。計画を立てることにより自立に計画 性という自立につながっている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を 行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている か。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	・訓練はない	・避難訓練は行っているが、全員が参加できていない。日程をずらしているが、職員の勤務日数や希望休によっては参加が難しい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・アレルギー利用者はいない。	・今後、医師に基づく対応が必要になった際は確認を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・研修、訓練が行われているかわからない。	・避難訓練は行っているが、全員が参加できていない。日程をずらしているが、職員の勤務日数や希望休によっては参加が難しい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	・毎月提出していたが、忘れる月もあり、特に何も言われない。	・固定された人のみの提出となっている。提出の方法を変更する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				